

「にぎわいとうるおいがあり、誰もが住み続けたくなる歩いて暮らせるまち」 を目指して



福生市は、東京都の西方に位置し、多摩川や玉川上水などの自然に恵まれ、武蔵野の面影を残した住宅都市として、また、米軍横田基地に面する商業都市として発展してきました。

平成22年3月には福生市総合計画（第4期）を策定し、「このまちが好き 夢かなうまち 福生」を都市像とする基本構想を策定しまちづくりに取り組んでおります。

都市計画マスタープランは、この総合計画を支える分野別計画として、総合的な視点から捉えた土地利用の方針や都市施設の整備方針を明らかにしたもので、市の都市計画の基本となるものでございます。

平成10年3月に策定した都市計画マスタープランは、この総合計画（第4期）との整合を図ることが求められ、また少子高齢化や防災性の向上、定住化の促進や地球環境問題など、この間の社会経済情勢の変化への対応が必要であることから、市では、平成24年3月に「福生市都市計画マスタープラン」の改定を行ないました。しかしながら、新たに福東地域における災害時対応施設の整備が必要となったことから、今回一部改正を行いました。

今後は、この都市計画マスタープランを指針として、地域の特性を生かしながら、土地利用や道路・公園といった都市基盤整備について、市民や事業者の皆様とともに、都市計画マスタープランに掲げる「にぎわいとうるおいがあり、誰もが住み続けたくなる歩いて暮らせるまち」を目指して、まちづくりを進めていく所存でございます。市民の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年3月

福生市長 加藤 育男